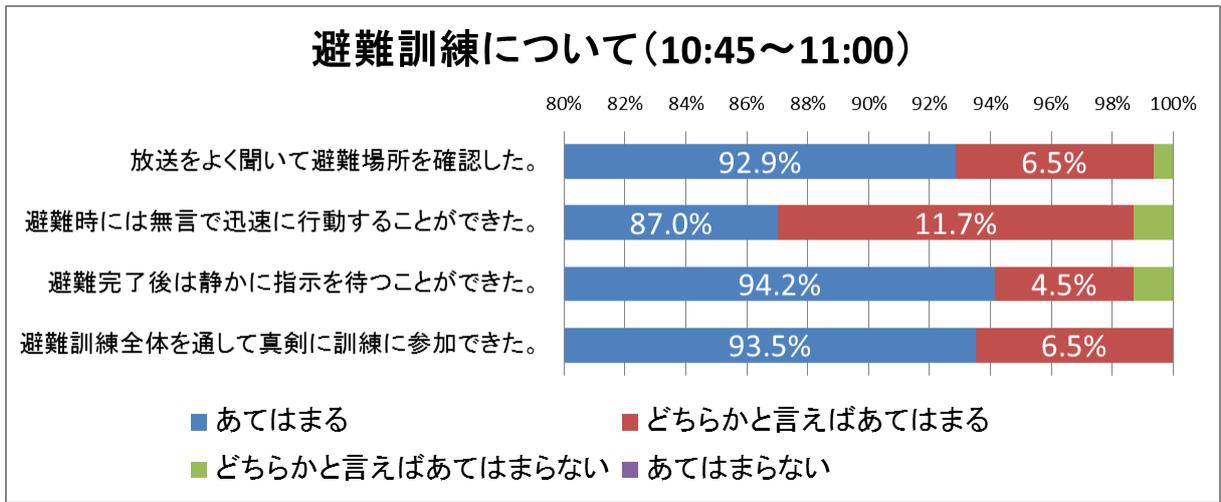


平成 28 年度 第 5 回片山中学校総合防災訓練のまとめ(生徒アンケートより)

1 避難訓練 (10:45~11:00)



◆ 3年生

- ちゃんと放送を聞いて、無言で集合場所に速く逃げられて、真剣に取り組めたのでよかった。
- いざというときには、この避難訓練できてきたことが唯一の安心感になるなと感じました。このことをこれらからも忘れずにおきたいです。
- 「お・は・し・も」のうち、「走らない」は守ることができませんでした。避難するときは、建物内では走らないようにしたいです。
- 去年よりもグラウンドへの集合が速くなった。本当の災害時にどれだけ自分が行動に移せるか、今回の訓練を忘れずにやっていきたいです。



◆ 2年生

- いっさいしゃべらず、あせらず行動することができました。予想していた時間よりも速くみんな外に出られたのでよかったです。
- 本当に避難するときに、あせらず放送を聞ければ避難訓練で習ったことが生かせそうです。
- 避難訓練では放送を聞いてからすばやく行動できて良かったです。授業中以外の他のパターンもあった方がいいなと思いました。
- 訓練の時にどのくらい真剣に行うかが 生きる確率を大きく左右すると思ったので、訓練だ



からこそ真面目にスピーディーに取り組みました。
○避難するための情報を聞きもらさないように静かに聞き、指示が通るようにした。

○班の人と協力して活動できました。本当に災害が起きたときにどのようなものが避難所にあったら快適に過ごせるのかを考えました。

○いざ本当に災害が起こったら、自分が周りに何かをしてもらう側ではなく、自分たちが誰を守る側であり、行動を起こす側なのだ改めて実感しました。

○今回が初めてで、ダンボールで家をつくるやり方を学びました。今日学んだことを災害が起きたときに活かしたいと思いました。



◆ 1年生

○小学生のお世話は慣れていないので、分かりやすく説明しないとイケなくて大変でした。

○衛星電話で遅れて聞こえるのはとても不思議でした。

○1年生の子がなかなか言うことを聞いてくれなかったけど、しっかりサポートしてあげた。

○自分よりも小学生の子を優先させることができました。真面目にできたかた楽しかったです。

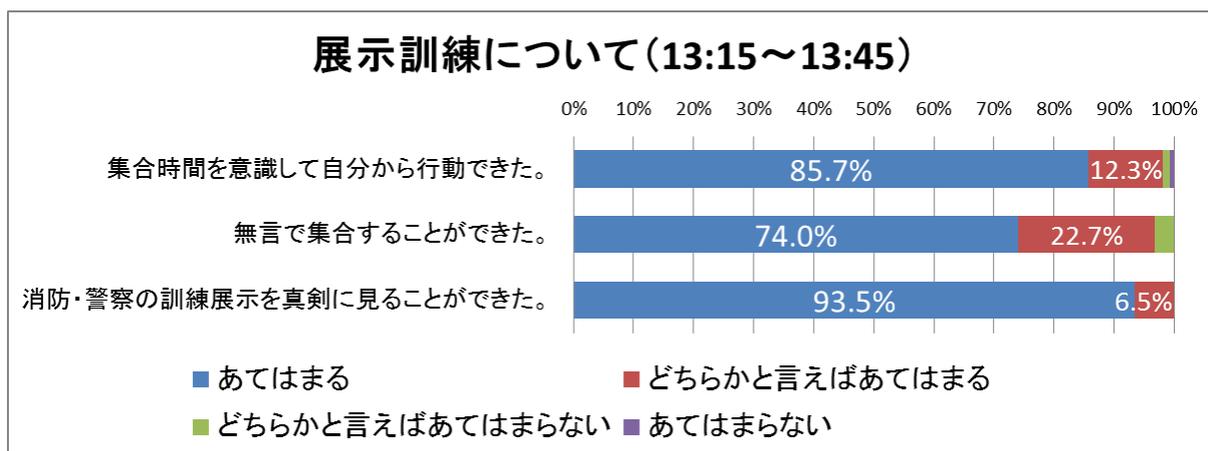
○初期消火訓練で小学生の世話をするのがすごく大変だった。

○1年生がとても楽しそうにやっていたのでよかったです。話をちゃんと聞いていないときには注意しました。

○1年生のことを考えて話しかけたりしながら、真剣に活動できた。



3 展示訓練（13：15～13：45）



◆ 3年生

○消防隊の方々の訓練はすごく迫力があり、「命を本気で守る」という思いが伝わってきた。

○救助の様子を見て、救助の大変さ命を大切に作る姿が印象に残りました。

○展示訓練の時に少し友だちと話したりしたので気をつけようと思った。

○展示訓練での警察犬が印象的にでした。動物の長所が活かされているなどと思いました。

○間近で見るととても迫力があって、時間が経っても忘れられないシーンです。「訓練」というのが本気でやるものなんだと改めて感じることができました。



○生徒会で訓練に携わることができ良い経験をさせて頂くことができた。

自分が何をするのかを声に出すことでスムーズに行動できるということがわかりました。

◆ 2年生

○救助隊の人たちはすごいと思いました。けが人の安全を考え、真剣にしているかっこよかったです。

○人を助けるということのすごさが展示訓練を見てすごく伝わってきました。

○消防隊のみなさんの展示訓練の迫力に圧倒されて、見入ってしまいました。



○災害が起きたときのために、いろいろ備えていられることがわかりました。私たちを守るために頑張ってくれているのがよくわかりました。

○警察犬のすごさを実感しました。真剣に訓練する様子を見せて頂いたので、私もしっかり集中して見るすることができました。

◆ 1年生

○実際に火を消火器で消すところを見ました。迫力がすごかったです。

○災害時には様々な方法で助けてくれるんだと心強く感じました。

○警察犬の訓練や救助隊の方の訓練は、私たちに絶対にはできないのすごいなと思いました。人の命を助けることができるのはすごいなと思いました。

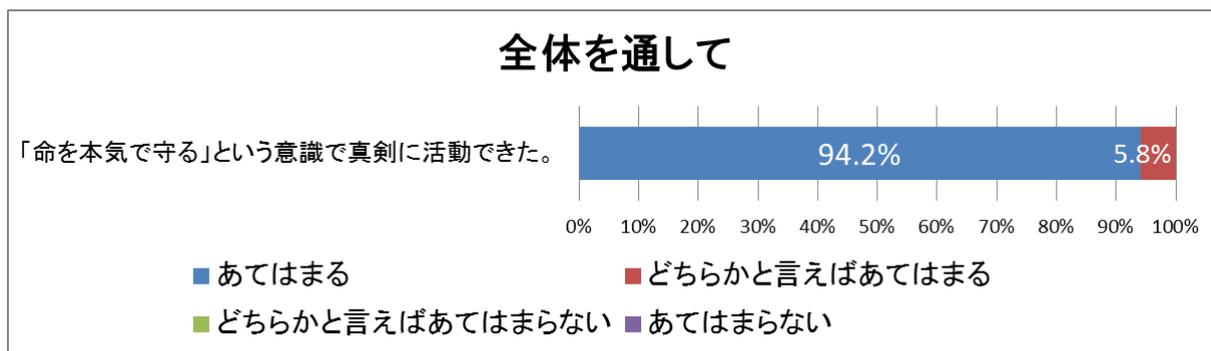
○消防隊の人が校舎からロープで降りてきたのすごかったです。

○消防隊の訓練の様子が印象に残った。警察犬が人を見つけるのがすごいなと思った。

○みんなテキパキ動いていてすごいなと思った。



4 全体を通して



今回の防災訓練で学んだことをまとめてみよう。

◆ 3年生

○今年は、広島近くの鳥取県でも地震が起こり、改めて自然災害の恐ろしさを感じた年でもあったので、そのようなときに避難訓練をすることができ、自分の命を守るための行動を頭でシミュレーションするなどして行うことができました。「お・は・し・も」を忘れず、備えていきたいです。



○冷静に避難することができるようにすることを学んだ。実際に災害が起こったときには、「逃げたい」という気持ちが強く、他の人のことまで考えられなかったりする。さらにケガをしてしまう可能性もある。近くの人々と助け合うことも大切に、その時にあった対処法を身に付けておくべきだと思った。訓練を通して「もしも」の時に、私たちに何ができるかを学んだ。たくさんの人の協力があることを学んだ。

○総合防災訓練も今回が最後だったけど、もし災害が起こったら…と想像して活動したり、消防署や警察署のみなさんの話を聞くことができた。片山中学校の生徒としては、もう参加はないけれど、高校でも防災について学びたい。

○私は今回の訓練で、自分だけを守るのではなく、地域のみなさんや家族や友だちのことも守っていくことが大切だと思いました。また避難所設営訓練では、イスを作ったりするなど、お年寄りの人にも優しいものをつくって良かったなと思いました。



○小学生のころは、自分で自分の命を守るという訓練をしていましたが、中学生になって自分の命以外にも周りの人の命も守るということを意識して訓練するようになりました。いつ、どこで、どんな災害が起こるのか分かりません。たけど、焦らず習得したことを発揮できるようにしたいと思いました。

◆ 2年生

- 何度も見てきたけれど、消防隊の方々の真剣に訓練する姿を見るとドキドキするし、すごいと思います。また、速く安全に避難させるために自分が少し危険でもためらわずに救助する姿はすごいと思います。
- 今回ぼくが特に感じたことは、災害は待ってくれないということです。災害がいつ起こって体育館が避難所になるかは分かりませんが、そのときを思って知識も気持ちも最大限に学ぶことができた。学習したことを実際に使えるようにできたらベストだなと思いました。
- 私はまだ、本当に避難するというのは体験していないので、どのくらい怖いのかなど分からないけど、訓練だからといって手を抜かず、本気で命を守ろうと意識することができました。集中して行うことができたのでよかったなと思いました。
- 地震でビビが入っていたりして壊れる可能性もあるから、避難するときは建物内では走らないということ。そして、協力（自分が不得意なことは得意な人に頼むなど）をすれば、手際よく、効率よく作業することができるということ。この2つを学んだ。
- 「本気で命を守る」というテーマのように、いくら訓練だからといっても気は抜かず、真面目に取り組むことができました。災害に対する意識を訓練を通して持つことができたと思います。また、実際に訓練をすることで、大変さを実感することが大切だと思いました。これからも今回の経験をしっかり生かそうと思いました。
- 道徳などで命について考え、「命を守るのはなぜ？」と聞かれたとき、まったく書くことができませんでした。それは、命があることを当たり前のように思っているからだ気づき、「本気で訓練しよう!!」と思えました。他の学校より、たくさん防災について学べることありがたいを持って生活に生かしていきたいと思いました。

◆ 1年生

- 中学生になって初めての防災訓練で、不安もありましたが、落ち着いた行動をとれたので、災害が起こったときにも落ち着いて行動したいです。
- 命を本気で守るには、訓練でも本当に起きたことだと思って真剣に取り組まなければ行けないということがわかりました。本当に起きたときには、地域の人たちの命も守りたいです。
- もしも実際に災害が起きたときには自分がどう動くかによって生死が分かれる、と分かりました。防災訓練で学んだことをしっかり頭に入れて「命を本気で守る」ということを意識して行動したいです。
- 私ははじめて訓練に参加して、本当に避難しているようで、前の学校にはないいい体験ができました。小学校1年生の子といっしょに行動するのはいろいろ大変だったけど、しっかり話を聞いてくれて、とてもいい子たちでした。
- 小学校1年生のような小さな子どもと避難することも必ずあるのでいい訓練になった。まずは「自分の命」、そして「みんなの命」といった意識を高めることができた。
- 消防士さんの話や訓練を聞いたり見たりして、自分を守ることは1番大切だけど、人を助けたりできる消防士さんたちは、すごい仕事だなと思いました。

